

【郡山:額田部を巡る】

—推定:太子創建「学びの道場」の地を訪ねる—

コース: 天理軽便鉄道跡～五輪塔覆堂(筒井順慶墓所)～西島古墳～松山古墳～額安寺五輪塔
～額安寺窯跡～額安寺～推古神社(推古神社古墳)～奈良県浄化センター
～まほろば健康パーク(昼食)～下ツ道～菅田神社～平端駅(3時頃解散)



平端駅駅前でお地蔵さん
本日の案内 池原さま



平端駅前のお地蔵さん



天理軽便鉄道の説明



天理軽便鉄道平端駅跡



天理軽便鉄道跡地図



筒井順慶墓所へ出発



[西面]__発起、長安寺邑、金物屋九兵衛
 [東面]__大峯山上、五拾度供養塔
 [北面]__右、ほうり(里)うじ、左、かうや、たか(可)だ(多)、道 (平端駅北踏切道標)



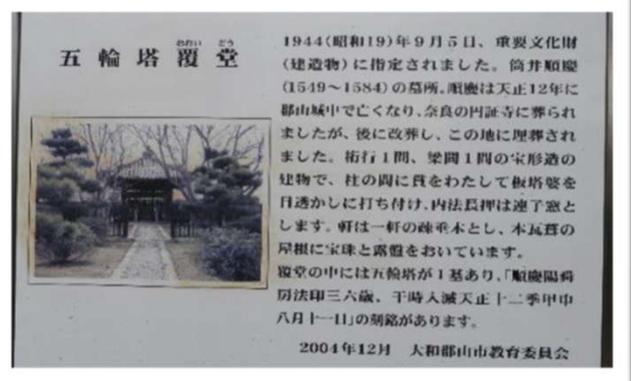
道標を撮っているとカラフルな電車が通過



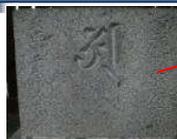
筒井順慶墓所へ向かう



五輪塔覆堂(筒井順慶墓所)



五輪塔覆堂(筒井順慶墓所)



五輪塔覆堂(おおいどう) 順慶陽舜房法印 三十六歳 子時入滅梵字 天正十二季甲申八月十一日



天理軽便鉄道 額田部駅跡



西島古墳



松山古墳



松山古墳説明を聴く



額安寺五輪塔へ向かう



中央奥に船墓古墳



[北面]__右、たつた、法りうじ、
すぐ、ごせ、たかだ、かうや



道標(額田部北)[南面]右、ざい所、すぐ、なら、郡山、道 [西面]大峯山上、五拾三度 [東面]文久元辛酉年五月日、世話人中



額安寺五輪塔へ向かう



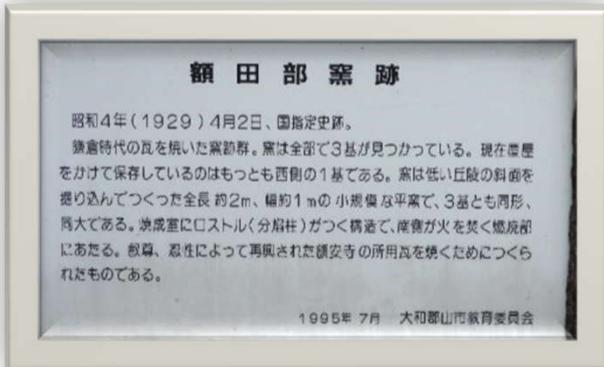
額安寺五輪塔(俗称:鎌倉墓)



五輪塔が8基並んでいる。一番大きい五輪塔が忍性の墓です。鎌倉時代の五輪塔群として重要文化財に、



又忍性の五輪塔内から骨臓器など出土しており併せて重文となっている。



額田部窯跡 重要文化財指定。窯は、全長2m・幅1mの小規模なものです。焼成室床面の溝(ロストル)



などの保存状態もよく、ロストル式平窯の炉内の様子がよく解る。額安寺の瓦を焼くための窯として造られたものです。



額安寺近くに寺町地蔵尊



額安寺参道



本堂 桁行五間寄棟造、建造江戸初期

宝篋印塔 (大和郡山市指定文化財)



額安寺
聖徳太子創建(621年とも)の、熊凝精舎熊凝山、熊凝精舎(後の大安寺)跡に道慈律師が創建、額安寺とした真言律宗。寺伝によると、推古天皇の額に出来物が出来、この寺で祈願されたところ、跡形もなく平癒されたので「(額が安らかになった)額安寺と呼ぶようになった。」という。

池原さんにより額安寺の説明



本堂内陣須弥壇



本尊十一面観音菩薩
室町中期の造像



虚空蔵菩薩半跏像(重文)
木心乾漆造、額安寺の根本本



推古神社へ向かう



推古神社古墳



御祭神は、第33代推古天皇（日本初の女帝）豊御食炊屋姫命（とよみけかしきやひめみこ）です。たくさんの石燈籠があります



推古神社拝殿奥にある本殿は、前方後円墳の推古神社古墳の上に建てられています



前方後円墳の前

前方後円墳の後



古墳時代後期の前方後円墳で、埴輪片が採集されているようです 推古神社の拝殿向って左側に建つ征露記念碑



まほろば健康パーク内で昼食休憩



まほろば健康パーク内で昼食休憩



稲穂は頭を下げている



ノウゼンカズラを見ながら



大峰山上七十五度供養碑(大峰山供養塔を兼ねた道標) すぐ大峰山上 東 天理王命 すぐなら 郡山 道



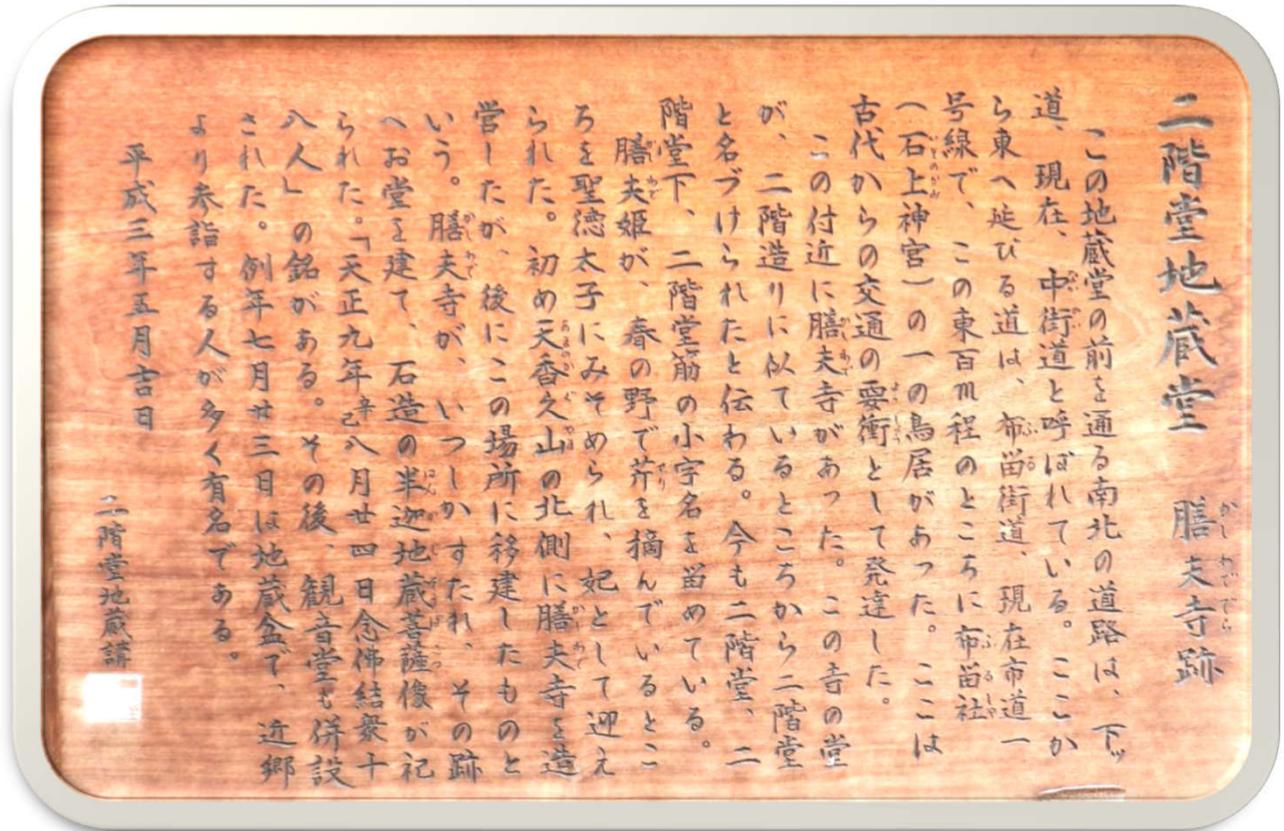
二階堂地蔵堂(下の左右は、堂内)



堂の横に建つ塔群



天香久山の北側に膳夫寺を建立したが、後にこの地に移築。その寺の堂が二階造りに似ているため二階堂と命名



菅田神社へ向かう



境内の東方500mほどの地に当社の鳥居が東向きに建っています



拝殿は本瓦葺・平入切妻造で桁方向に異様に長い割拝殿 本殿は銅板葺の一間社春日造で非常に鮮やかな朱が施されており、脇障子には「一夜松天神」松の絵が描かれています





佐保川三郷橋の碑 (三郷橋西詰)



熱心に覗き込んで何て書いてあるのかな??

東面 右、郡山、京、左、法隆寺、龍田、高田、高野、道 **北面** 南無妙法蓮華經、法界 **西面** すぐ(春ぐ)、に(爾)かひ堂(二階堂)、丹波市、は(者)つせ、吉野、道 **南面** 文化九申年六月…日、世話人、堺出店?宮堂邑宗兵衛、石工、郡山、甚?兵?衛 1862年(文久2年)



熱心に覗き込んで何て書いてあるのかな??



近鉄平端駅

雨模様でしたが、一時の小雨で恵まれました。
蒸し暑い中、全員無事完歩し平端駅に着き解散。